

## ステークホルダーとのコミュニケーション

旭化成グループの事業は、ステークホルダーとの信頼関係のうえに成り立っています。お客さま、株主・投資家の皆さま、お取引先、地域の方々、国内外の一般市民、従業員など、多様なステークホルダーの要請を理解し、期待に応えていくことが企業価値の向上につながると考えています。ステークホルダーとの対話をより良い事業活動へつなげるために、さまざまなコミュニケーションの機会を設けています。

### 主なステークホルダーとコミュニケーション機会



#### お客さま

- 営業・販売担当者による対応
- ウェブサイトでの製品・サービス情報の提供
- 電話・ウェブサイトなどへのお問い合わせへの対応



#### 株主・投資家

- 株主総会、投資家向け各種説明会
- 個別面談、ウェブサイトでの情報開示
- 電話・ウェブサイトなどへのお問い合わせへの対応



#### お取引先

- 安全協議会などの交流会、CSRアンケート
- 内部通報制度 (コンプライアンスホットライン)



#### 地域・社会

- 定期的な地域交流会
- 地域貢献活動



#### 従業員

- 各種研修・面談、労使コミュニケーション
- 社内報・イントラネット
- 内部通報制度 (コンプライアンスホットライン)

### 企業価値向上に向けた対話の推進

国内外の株主・投資家の皆さまに、当社グループの目指す姿や経営戦略、ガバナンス等の持続的な企業価値向上に向けた道筋をご理解いただくため、トップマネジメントをはじめとして積極的な情報開示と双方向のコミュニケーションに努めています。

2022年度は、経営説明会、決算説明会(年4回)、事業説明会に加え、サステナビリティ(気候変動対応や人財戦略等)、知財戦略、DX戦略などの説明会を開催し、その内容をウェブサイトでも開示しました。個別面談は年間で277回実施しており、パッシブ投資家の皆さまとのSR対話や、ESG、知財・無形資産等の非財務情報を主テーマとする面談なども多く行っています。各種説明会や面談、開示物等に対してフィードバックをいただくことにより、株主・投資家の皆さまのご意見を踏まえた情報開示の改善に努めています。海外投資家の皆さまに向けては、ウェブサイトでの英語開示を充実させるとともに、オンライン会議を中心とした面談も積極的に実施しています。

トップマネジメントは説明会への登壇や面談、スモールミーティング等を通じ、中長期的な企業価値向上に向けたコミュニケーションを積極的に推進しています。資本効率のさらなる向上など、対話を通じて示された株式市場の要望も踏まえながら、事業ポートフォリオ転換の加速や各種KPIの向上を図っています。

### 「宮崎県デジタル人財育成コンソーシアム」の設立

2023年5月に、当社の創業の地であり主要な製造拠点を置く宮崎県において、産学官がデジタル人財の育成を通じてデジタル技術の普及・浸透・質的向上を推進し、地域課題の解決、地方創生に貢献することを目的とする「宮崎県デジタル人財育成コンソーシアム」を、当社を含む5組織で設立しました。

宮崎県においては高齢化や人手不足等の課題が深刻化する一方、豊かな観光資源や盛んな農林畜産産業等を有しており、デジタルを活用しさらにその魅力を高めることが可能であると考えています。

本コンソーシアムでは、宮崎県内のデジタル化を牽引する人財を育成すべく、学生向け・社会人向けそれぞれのプログラム展開からスタートし、産学官の各組織が“対話”と“各自の強み”を活かし一体となってこの取り組みを推進することで、活動の輪を広げていきます。

